

平成 22 年度国立大学図書館協会地区協会助成事業報告書（関東甲信越地区）

申請地区名	関東甲信越地区（主担当大学：筑波大学）						
事業名	関東甲信越地区大学図書館シンポジウム@つくば テーマ「学習支援：2020 年これが図書館の生きる道」						
事業目的・趣旨	大学図書館をめぐる環境は大きく変わってきている。大学図書館の使命「教育・研究支援」のうち教育支援は、教育方法の変化に伴い、学生の自主的な学習を支援する「学習支援」へと姿を変えつつある。電子ジャーナル・DB の整備によって図書館の存在感が薄れてきている中で、「学びの場」として図書館の存在意義を示すためにも、今回の研修を通じて教育支援から学習支援に変化している図書館の役割について考える。						
事業概要	<p>開催日：平成 22 年 12 月 15 日（水） 13:00～17:15          開催場所：筑波大学春日キャンパス 情報メディアユニオン 2 階          主催： 関東甲信越地区国立大学図書館協会          共催： 茨城県図書館協会大学図書館部会</p> <p>13：00－13：05 開会          13：05－14：05 講演「図書館員の新たな役割」          竹内比呂也（千葉大学 文学部教授）          14：05－14：15 休憩          14：15－15：40 講演「学習支援と大学図書館」          井上真琴（同志社大学 企画部企画室企画課課長）          15：40－15：50 休憩          15：50－17：10 パネルディスカッション          「図書館が行う学習支援」          パネラー：逸村裕（筑波大学教授）、竹内比呂也、          井上真琴、三津石知己（筑波大学院生）、          熊淵智行（筑波大学附属図書館）          17：10－17：15 閉会          17：30－19：00 情報交換会（懇親会）</p>						
実施状況	<p>参加者：85 名（学外 55 名 学内 30 名（学生含む））          ウェブサイト：  <a href="http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/pub/ibaraki-kenshu/2010.html">http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/pub/ibaraki-kenshu/2010.html</a></p>						
経費	<table> <tr> <td>講師旅費・謝金（竹内、井上講師分）</td> <td>91,160 円</td> </tr> <tr> <td>資料作成費・会議費等（用紙、ファイル代等）</td> <td>38,840 円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>130,000 円</td> </tr> </table>	講師旅費・謝金（竹内、井上講師分）	91,160 円	資料作成費・会議費等（用紙、ファイル代等）	38,840 円	合計	130,000 円
講師旅費・謝金（竹内、井上講師分）	91,160 円						
資料作成費・会議費等（用紙、ファイル代等）	38,840 円						
合計	130,000 円						